

図書館教育 指導体系表（西が岡小学校）

		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
目標	（３）書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、 楽しんで読書しようとする態度を育てる。	（３）目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。	（３）目的や意図に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。				
	カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。	カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んでよむこと。	カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。				
言語活動例	ア 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。 イ 物語の読み聞かせを聴いたり、物語を演じたりすること。 ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。 エ 物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること	ア 物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。 イ 記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること。 ウ 記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと エ 紹介したい本を取り上げて説明すること オ 必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと	ア 伝記を読み、自分の生き方について考えること。 イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること ウ 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと エ 本を読んで推薦の文章を書くこと。				
	4 月 ほんがたくさん（3時間） ・本に興味をもち、読み聞かせを楽しんだり、読みたい本を選んだりする。 7 月 ほんはともだち（3時間） ・読みたい本を探して読み、読書を楽しむ としょかんって なんだところ ・本がたくさんある。 ・みんな静かにしている。 ・本は大切にしよう。 ・本をかいて家で読もう。	4 月 としょかんへいこう（1時間） 7 月 本は 友だち（3時間） 9 月 いいつたえられているお話をしよう（6時間） 図書室に親しませる図書館の利用の仕方を知り、本を読む。 1 図書館はどこなところか、どのように使うのかを確かめる。（１） 本でしらべよう ・本を探すときは置いてある場所や本の名前を手がかりに。 ・いろいろな種類のことを知りたいときは、図鑑を読もう。 ・知りたい動物が決まっているときは、その動物だけの本も読もう	4 月 本にししよう（1時間） 7 月 本は友達（2時間） 読んだ本の情報を記録したり、感想を書いたりする。 ・気に入った本の感想を書いて友達に紹介することができる（１） 目次やさくいんを使う ・本で調べるときは目次や索引を使うと早く見付けられる ・目次、索引 それぞれの使い方 要約 ・書かれている内容を短くまとめてカードに書く。大事な言葉や文を使いながら分かりやすく書き換えたりする。	4 月 図書館へ行こう（1時間） 十進分類法と図書の配架、本の検索方法について知る。 7 月 本は友達（2時間） 本の分類と図書館の配架を知り、本の探し方を確かめる。 ・簡単な分類番号や種類によって棚が分けられていることに触れる。 いろいろな資料 ・資料にはいろいろある。調べる内容や目的に合わせて選ぶ ・百科事典、図鑑、年鑑、統計資料、白書 ※内容は確かだが、情報が古いことも。 ・新聞、雑誌、インターネット ※最新だが、確かでないものも。	4 月 本に親しもう 7 月 本は友達（1時間） 読んだ本の情報を記録したり、お気に入りの本を紹介したりする。（本の帯をつくる） 著作権と引用 ・著作物は、すべて作者の許可なしに使ったり、中身を変えたりできない。 ・授業などで使う場合は、著作物を複製してよい。「引用」も許されている。 ・引用の場合は、必ず「 」で示す。元の文や言葉は書き換えない。何から引用したか、明記する。 情報モラル		
学級活動	6 月：図書室めぐり （図書室の利用の仕方を知り、みんなで見る本の扱い方を知る） 1 学期は学級でまわって図書室に来て、担任の指導のもと貸し出しや返却をする。	6 月：図書室のきまり （図書室のきまりを理解し、学習や読書を楽しむ行いが出来る場所にする） （図書館の本は仲間に分けて置いてあることを知り、大体のきまりを知る。）	1 1 月：読みたい本の見つけ方 いろいろな種類の本があることを知り、分類に気をつけて本を探すことを知る。	4 月：・図書館へ行こう 本の分類の仕組みと図書の配列のきまりを理解させ、読みたい本を探すことができるようにさせる。	5 月：図書館の仕組みと役割 ・学校図書館の施設と設備、その仕組みや役割を理解させ、進んで利用しようとする意欲をもたせる。	6 月：図書館活用術 ・図書館のいろいろな利用の仕方について知り、学校生活の中で積極的に活用しようとする意欲を高めることができる。	
社会			・ものを売る仕事ではたらく人たち スーパーマーケットなどものを売る仕事をしている人々について調べる。 ・ものを作る仕事ではたらくひとたち 工場や田畑でものをを作る仕事をしている人々について調べる。 ・むかしのくらしを発見しよう 昔の暮らしや古い道具について調べる。 ・宇都宮にのこる古くから受けつがれてきたものをしらべよう 地域に伝わる祭りや行事について調べる。	・そのごみはどこへ行くの 廃棄物処理のための事業や今後のリサイクルの在り方について調べる。 ・消防しよのひみつをさぐる 消防の仕事や施設について調べる。 ・けいさつしよにもひみつがいっぱい 警察の仕事や施設について調べる。 ・宇都宮のはってんにつくした先人たち 地域の発展に尽くした人や当時の生活について調べる。 ・栃木県のはまん 栃木県の特産や文化、他の県や外国とのつながりについて調べる。 ・まだまだ広い栃木県 栃木県の特産や文化を調べる。	統計資料の活用の方の指導 ・世界地図や地球儀を活用し、世界の中の日本の位置をつかむ ・教科書以外の国内の様々な土地について、参考図書で調べる。 ・米作りについて、総合と関連づけながら調べる（参考図書多数） ・自動車工業について、工場を見学したり図書やインターネットで調べたりする ・情報化社会について、図書やインターネットで調べる ・生活と環境について（森林のはたらき、環境保護）について、国語との関連も考えながら調べて自分の考えをまとめる	歴史上の人物、出来事について参考図書で調べる。 生活と政治、世界の中の日本、日本とつながりの深い国々、日本の国際的役割などについて調べ、自分の考えをまとめる。	
理科			・チョウを育てよう ・こん虫をさがそう チョウの育て方を図鑑や参考図書で調べる こん虫の体のつくりやそだちについて調べる。	・電気のはたらき 電池や光電池について調べる。 ・夜空を見よう 天体や宇宙について調べる。 ・自由研究出かけよう科学の世界に 身近なこと生活の中から調べてみたいことを決め、研究してみる。 ・ヒトの体のつくりと運動 ヒトや動物の体のつくりや運動について調べる。	関連図書やインターネットで発展的に調べてみる ・天気の変化 ・人や魚のたんじょう メダカの話の仕方 ・物のとけ方 等各種実験（自由研究） ・磁石など	関連図書やインターネットで発展的に調べてみる ・太陽と月、大地のつくり、電気とくらし 人と環境のかかりについて調べ、考える。社会科とも関連し、地球の環境保全についての自分の考えをまとめる。	
生活科・理科・社会科の学習の展開	・学校探検（図書館の場所を覚える 図書館はどこな場所） ・いきものさんとともだちになろう（植物や昆虫の写真を図鑑から探してみる。） ・あきとあそぼう（落ち葉や木の実を使った遊びを調べる。）	・土はまほうつかい 自分たちで作ってみたい野菜について調べる。 ・生き物はともだち ザリガニなどの小動物の飼育の仕方を調べる。	・西が岡新発見 西が岡の周りで見つけたものについて調べる。	地域に古くから住んでいる人や、家族から学校や地域の歴史について聞き取りをし、郷土資料室を見学して分かったことをまとめる。	・日本や世界の環境問題について調べる。	・自分のつきたい仕事や興味のある仕事について参考図書やインタビューで調べる。 ・自分の夢の実現について考えをまとめて発表する。	
情報活用能力	・学校図書館の位置（生活科：学校探検） ・学校図書館の使い方の約束、図書の借り方、返し方（6月学級活動）	・学校図書館の使い方の約束 ○図書館利用 ・たくさんの本の中から読みたい本を選ぶ。 ○人的情報源の利用 ・見学して質問する ・答えてくれたことをメモする	・学校図書館の使い方の約束 ・簡単な分類のしくみ（分類番号 配架の約束） ・図書、視聴覚メディア、コンピューター、人的情報源などの特性を知る。 ○図書館利用 ・国語事典の利用 ・地図の活用 ・百科事典の使い方 ・調べたいことに合う本を探す ○人的情報源の利用 ・見学して質問する ・話してくれたことをメモする ○情報メディアの利用 ・ローマ字入力に慣れる。	・学校図書館の使い方の約束 ・簡単な分類のしくみ（分類番号 配架の約束） ○図書館利用 ・漢字辞典の利用 ・パンフレットの使い方（社会、県内の資料） ・新聞やパンフレットの活用 ・調べたいことに合う本を探す ○人的情報源の利用 ○情報メディアの利用 ・身近な電子メディアの種類や特性を知り、活用する。	・学校図書館の使い方の約束 ・分類のしくみ（分類番号、配架の約束） ○図書館利用 ○参考図書の活用 ・新聞の利用 ・年鑑・統計資料の活用 ・分類番号を手がかりに調べたいことに合う本を探す ○人的情報源の利用 ○情報メディアの利用 ・インターネットを使って調べる ・情報モラルについて知る。	・学校図書館の使い方の約束 ・日本十進分類表（N D C）のしくみ（分類番号、配架の約束） ○テーマに沿った調べ方 ○図書館利用 ○人的情報源の利用 ○○情報メディアの利用 ・インターネットを使って調べる ・情報モラルについて知る。	
	・好きな本の場所を覚える。 ・教師がそろえた図鑑類の中から見たい本を選び、使う ・レファレンスサービスについて知る。 ・図書のラベルと配置の関係を知る。 ・題名や表紙、挿絵などを利用して必要な本を探す。	・だいたいの本の配置（4類、9類） ・表紙や書名から見当をつけて、本を探す。 ・図鑑の種類と使い方を知り、利用する。 ・調べたい内容を簡潔にキーワードで表して、図書支援員や司書教諭に質問する	目次、索引の使い方 ・テーマの探し方・しぼり方	目次、索引の使い方 ・テーマのしぼり方、キーワードの見つけ方	・出典、引用、著作権 ・記録カードの作り方と整理の仕方 ・ファイル資料の作り方 ・複数の情報の比較選択	テーマに沿った調べ方 ・キーワードを適切に組み合わせて、有効な情報を検索する。 ・情報内容の吟味、出典、引用、著作権 ・記録カードの作り方と整理の仕方 ・ファイル資料の作り方 ・複数の情報の比較選択	
	・絵や短い文でまとめる。 ・カード、ワークシートに書く。	・分かったことをワークシートに書く。 ・興味をもったこと、大事だと思ったことを抜き書きする。 ・気付いたことを書く。 ・絵や文章でまとめる。 ・感想を書く。	・調べた中から必要な情報を選ぶ ・資料の要点をまとめて書く ・新聞の形でまとめる ・表にまとめる ・感想を書く。	調べた中から必要な情報を選ぶ ・資料の要点をまとめて書く ・新聞・パンフレットの形でまとめる ・感想を書く ・自分の意見をまとめる ・資料リストを作成する	・調べたことを要約する。 ・情報を図、統計、イラスト等に再構成する。 ・新聞・パンフレットの形でまとめる ・感想を書く ・複数の情報を比較したり、自分の意見と比べたりしながら、必要な情報をまとめる。 ・資料リストを作成する	・絵や文章、図や表でまとめる ・内容に適したまとめ方を選んでまとめる。 ・P Cでまとめる。 ・感想を書く ・取り出した情報を評価したり、考察を加えたりしながら、自分の意見や感想と区別してまとめる。 ・資料リストを作成する	
	・カードにかいたことを、読んで（覚えて）発表する。 ・掲示によって発表する	・カードにかいたことを、覚えて発表する。 ・掲示によって発表する ・紙芝居やペープサートで発表する。 ・友達の発表に対して感想を発表する。	・カードにかいたことを、発表する。 ・掲示によって発表する ・紙芝居やペープサートで発表する。 ・友達の発表に対して感想を発表する	・カードにかいたことを、発表する。 ・掲示によって発表する ・ポスターセッションの仕方 ・発表の工夫（台本、劇、視聴覚機器など） ・友達の発表に対して感想を発表する。	・ポスターセッションの仕方 ・発表の工夫（台本、劇、視聴覚機器など） ・パワーポイントなどP Cを活用して発表する ・友達の発表に対して感想を発表する。	・相手や場によって表現方法を選択する。 ・発表の工夫（台本、劇、ディベート、パネルディスカッション、ポスターセッション、視聴覚機器 など） ・ニュース番組作り ・パワーポイントなどP Cを活用して発表する ・友達との相互評価 ・学習したことを他の学習や生活に活用する。	
図書委員会その他	貸し出し準備 読書週間 館外貸し出し（寒間・昼休み） 読書集会 読書郵便 低学年への読み聞かせ	朝読書（毎週月木曜日） 先生方のお話の日（年5回）					
	朝の読み聞かせ（読み聞かせボランティア：毎週木曜日、学年ごとに回る）						

※「図書館利用、調べ学習の段階」は、全国学校図書館協議会制定「情報・メディアを活用する学び方の指導体系表」（2004年4月制定）「情報を学習につなぐ」（2008年5月発行）をもとにした。